

かかしのまちの ミニ・マガジン

月刊 Monthly Local Magazine : Kaminoyama

# かみのやま

第248号 2021年12月



「上山城」からのたより 冬 第149便  
上山城

連載上山温泉秋祭り【踊り山車】  
小松正明

わが町再見「城廻り」シリーズ③ 本丸-1 本丸の地層  
鎌上宏

連載◆ふるさとへの便り 59  
武田幹雄

連載 随筆 ⑥ 温泉に行こう  
橘千枝

連載〈詩歌的な気分〉 ⑨ 凡夫  
をさわ 英幸

回想記 松の根っこが大空を飛んだ  
岩瀬義一

連載エッセイ かんごし通信 27  
えも たくみ

連載◆わがロードバイク・ライフ 80  
黒森 鋼

連載エッセイ 直売所で会いましょう  
佐藤 藤三郎

# 「上山城」からのたより 冬・第149号

【常設展示室から】抽選で景品が当たるクイズ上山城探検を毎月実施中。クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。

今年も残すところ一か月。コロナ禍で自粛を余儀なくされたが、ワクチンの普及もあり、人流が回復の兆しを見せていると聞く。



コロナ禍以前の賑わいは懐かしく、隔世の感があるが、お城の広場で実施されたワインバルをはじめとするイベントで、長年チアダンスでまちを盛り上げてくれた上山市特命観光大使の瓜生桂さん（現米国

ラスベカスレイダーズチアリーダー）の姿が昨日のこのように思い浮かぶ。また、この時期になると金谷ごぼうの生産者、鏡弥次郎さん（故人）との交流が思い出深い。私も上山市と関わりを持ち十年になるが、特に鏡さんとの交流では、プロチームや大学のチームメンバーとともに、金谷ごぼうにまつわる講演や畑での見学など、何年にもわたり機会を提

供して下さった。天保年間の頃より今日の種が使われ始め、観音岳から流れた土砂によって独特の地味となり、美味しいごぼうが収穫できるとい

う。弥次郎さんの耕した土はふわふわで、地中深くまでごぼうがすくすく育つ。たいへん香りがよく、

白くやわらかいのが特徴だ。畑には、他にもきれいな黄色いオクラの花が元気に咲いており、どの作物も心をこめて育てていることが感じ取れた。

## 文化の薫る城づくり

（公財）上山城郷土資料館 理事長 森久保 俊 満

内科・循環器内科  
医療法人 長清会

### 長岡医院

理事長 長岡 迪生  
院長 櫻井 清陽

診療時間/平日9:00-12:30 14:00-18:00  
休診日/日・日曜・祝日・木曜日  
上山市沢丁9番13号 TEL.672-0308

泌尿器科・皮膚科

### 山口クリニック

院長 山口 寿功

診療時間：平日9:00-12:30 14:00-18:00  
水曜・土曜：9:00-12:30  
休診日：日曜・祝日・水曜午後・土曜午後  
上山市四ツ谷 1-6-35 TEL677-0050

### 原田眼科医院

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	●	●	●	●	●	●	●

木曜・土曜 12時まで / 休診日：日曜・祝日  
上山市十日町 9-2  
023-672-0008

### 永田歯科医院

Nagata Dental Clinic

診療時間 AM 9:00 ~ PM 1:00  
PM 2:00 ~ PM 6:00  
休診日 日曜・祝日・木曜  
上山市元城内 3-62  
672-0215

# 12月

温泉の湯、夢の湯、人も湯く  
ワクワク温泉城下町  
かみのやま

## スキー場オープン情報

- 蔵王ライザワールドスキー場  
12月17日(金)  
TEL.023-679-2311
- 蔵王猿倉スキー場  
12月24日(金)  
TEL.023-679-2211

積雪状況によりプレオープンあり

(一社) 上山市観光物産協会  
023(672)0839  
http://kaminoyama-spa.com

♥愛車に Make-upを……

## 鈑金・塗装・車検

～承ります～

東北運輸局長認証工場

創業44年 **E** 有限会社 遠藤ボデー

〒999-3122 上山市仙石1121-1  
TEL 023-672-7185 FAX 023-672-7167

## メモリアルホーム鶴脛

各宗・総合葬祭

### (株) マルシン葬祭社

寝台車(霊柩)・ワゴン・マイクロバス

上山市久保手4005の10  
023-672-4242  
023-672-4470  
E-mail e-taishin@if-n.ne.jp

# 上山温泉秋祭り『踊り山車』

― 屋台山車の記憶 ―

踊り山車振興会 小松 正明

♪ 驚いた♪ 驚いた♪ 驚いた♪  
♪ 村上大祭♪

一九九六年七月七日、踊り山車振興会は新潟県村上市に研修旅行に出かけました。二〇一八年国の重要無形民俗文化財に指定された『村上大祭』です。振興会が発足して三年目、他所の祭りを見学して刺激を貰い、踊り山車を盛り上げようと企画されました。いつの間にかもう二十五年も経ってしまいました。

こけし屋さん(木村勇助会長)以下八名は山車の装束で祭りに参加できると意気込んでバスに乗り込んで出かけた。観光協会の梅つつあん(梅津栄治さん)と齋藤洋子さんが村上市観光協会に照会して参加できるよう手配してくれたのでした。



村上に着くと市役所は建物全体が紅白の幕に包まれていました。さすが大祭と呼ぶだけあって市全体、市民が一体となって盛り上がっていて祭りの高

揚であふれていました。村上大祭は、西奈彌羽黒神社の例大祭で寛永十年(一六三三年)藩主堀直奇(なおより)が城から神社を見下ろすのは畏れ多いと元羽黒から現在地に御遷宮した時に遷宮祭を執行したのが起こりです。

上山の山車は一七五二年発祥ですが、藩主が大阪城の御加番という役目を終えて帰省した時に十日町の町衆がお殿様お疲れさまと慰める為に祭りを盛り上げたようです。領民に人気があったのでしょうか。その藩主も御神輿の行列には道を開けて拝礼し、通り過ぎるのを待ったということです。織田信長の様な「うつけもの」以外は皆、畏れ多い神仏に敬意を払ったという事だと思えます。

村上大祭は3基の神輿と荒馬十四騎、稚児行列を先導に町内を巡行する

『お旅神事』ですが、その後に続く十九台の屋台は「おしゃぎり」と呼ばれ、その一斉の曳き回しは圧巻です。高さが高さ以上の屋台は二階建ての構造で二m程の車輪がついている。1階はお囃子を演奏する一間造りのスペースで二階は『乗せ物』を飾るスペースとなっている。繊細な彫刻や細工が施され、堆朱、堆黒、金箔がちりばめられていて豪華絢爛です。

乗せ物は各町内により異なり、『見送り』と呼ばれる彫刻も特徴があります。その他囃子屋台は白木造りで一階がお囃子と楽屋の二間構造。仁輪

加屋台は車輪が小型で笛と太鼓のみで威勢良い演奏が特徴です。私たちは第十七番上片町の囃子屋台に参加させて貰いました。後で分かったのですが、『いろは山車』と同じ昭和九年に建造されたこのことで奇遇なめぐりあわせでした。『乗り子』は、水色の帷子と黄色の袴を着て、大太鼓、小太鼓、摺り鉦、篠笛の音で優雅な調子を奏でます。しかし、引手は屋台を右に左に振り回しジグザグに威勢よく引き廻しています。町の顔役の様な人から威勢のいい若衆、中学・高校生の女の子から、親に手を引かれて法被、鉢巻の幼児が晴れ

がましく山車を引く綱に触って歩いている。・・・「いいなあ」・・・しばらく一緒に曳かせてもらった私は、好ましさ、羨ましさで祭りを堪能したものでした。文化とか歴史とか伝統とかそんな大げさなものではなく、この人たちが襷を繋いで来たんだという事がひしひしと伝わってきました。祭りは人の思いの集まったものだという事が肌で分かった研修旅行でした。参加した仲間の弥次喜多ぶりは紹介するまでもなく、この後『お祭りほい』が恒例になりました。

上山がもっと元気に  
なりますように。

私たちは、そんな願いも込めて  
山形新聞を毎日お届けしております。

～新聞をもっと身近に！～

山新販売(株) 山形市旅籠町2-5-12  
山形メディアタワー6F  
☎023-635-6111  
上山営業所 上山市弁天2丁目  
☎023-672-0259  
上山南営業所 上山市石崎1丁目  
☎023-673-3541

美咲花咲き  
パークینگ  
かみのやま温泉駅東口  
とても便利です!!

キッチンカー などの  
出店(短期・定期)も、  
随時ご相談承ります。  
☎673-1895 [鈴木]

こんな困りごと  
ありませんか？



宝 石・メカネ・時計

タニエ

上山市石崎2丁目1番33号  
☎023-672-0364  
携帯:080-3330-6973

# わが町再見『城廻り』シリーズ③ 『本丸』〜1 『本丸の地層』

鎌上 宏  
(水岸山観音寺住職)

前回まで歴史が刻まれた地域の地勢・遺物・古跡について「城東廻り」、「城西廻り」を見てきました。今回はその中心本丸の御城についてこの度は見ていきます。

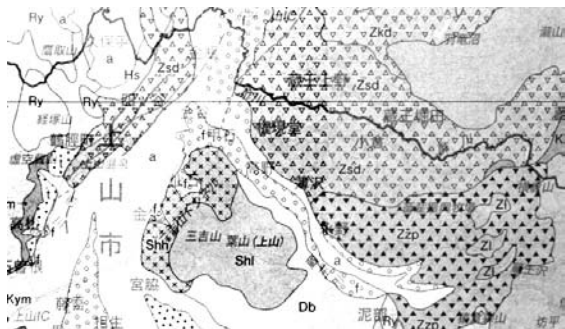
まず今回は、上山の地勢についてのことです。数万年前から二千年前までの数次にわたる蔵王噴火による酢川泥流は上山の北西地帯の花立地蔵、久保手にまで達しています。最近の東北中央道リナワール下のトンネル掘鑿、また上市温泉健康施設建設の地質調査にもその火山噴火物堆積状況が報告されています。蔵王噴火による爆裂泥流は前川を堰止めましたが、花立地蔵の丘上ばかりでなく南西の天神森丘（月岡）崎にも蔵王噴火泥流が及んでいます。このシリーズは上山の地層を述べる目的ではないので、月岡天神森の丘、上山城が築城された丘について

見ていきます。

中世までの山城は虚空蔵山頂にあった高楯城でした。城に通じる古往還はその西山麓を南北に走る往還で、高楯城が天文四（一五三五）年に天神森（月岡）に築城されたとされています。その折りは追手門は西側（土門）に築かれ、由来ある八幡丁、天神丁や廣福寺がありました。その天神森月岡の地層は、西山側の久保手から河崎辺りまで蔵王噴火堆積物の地層が続き、それが三吉山地層（堆積物）と繋がっていました。繋がっていたというのは、蔵王噴火による爆裂泥流が上山北部一帯を覆い、その後前川流水は現在の竜王橋辺りで堰止められて湖となっていたのです。以後長い時間をかけて湖面周辺の歴史を刻み、その後盆地となつて有史の時代となりました。土矢倉古墳、藤木遺跡など歴史の痕跡は湖

水が少なくなった湖辺だったことを示しています。

さて、「上山城跡」の地層のことで市教育委員会が上山城跡を発掘調査しました。報告書はまず上山城跡のことを俯瞰しています。「上山城は、上山盆地の西部に連なる丘陵地の一部で、上山城の東側崖下を流れる前川と西側の崖下の大沼・牛沼は天然の外堀にあたり、南・北側は段丘がとぎれて小川が流れ、あたかも独立した丘状となつている要害の地。市街地から二〇mほどの急な坂を登り平山城の旧本丸（\*標高一九六m）にたつと、城のすぐ下は、山形・米沢・七ヶ宿に通じた交通の要衝（\*羽州街道）にあたり、町屋を作るなどの背後地も広く、城下町政策（\*城下・温泉・宿場）を進めるには最適な場所であった」。さらに



上山の地層図  
左が蔵王温泉、上が金瓶、左が経塚山、虚空蔵山、中央が三吉山・葉山。蔵王山麓と三吉山、鶴経町一帯が同じ地質(酢川岩屑流堆積物)であることが示されている。

続けて上山城跡（現上山城駐車場）の地層について述べています。現在のようには平板地ではなく東屋のある東側地は表土から火山礫（\*岩片）凝灰岩が七m、その下に凝灰岩（\*火山灰堆積）四m、駐車場トイレ側は表土から凝灰岩四m、火山礫凝灰岩七、八m、それぞれ粘土状で数cmの安山岩（\*堆積岩ではない火砕流堆積物）質礫が混じっていたと述べています。また、表土より五m下に透水層があり、四基発掘された城内井戸や牛沼の関連を指摘しています。

遺物・遺構として城跡からは縄文時代前期の遺構・遺物、平安時代の遺物

が発掘され、築城時の珍しい軒丸瓦・軒平瓦、中国伝来の龍泉窯青磁破片、国内の磁器や瀬戸が出土し、城が取り壊されることがあったためか武器や武具などの遺物は発掘されませんでした。天文四（一五三五）年に築城された。天文四（一五三五）年に築城された。天文四（一五三五）年に築城された。月岡は縄文時代から環境のよい生活の場だったのです。

### 参考資料

『上市市史・上』『市史別巻』『上山見聞随筆』『山形大学出版会地質図』『上山城跡』  
発掘調査報告書（二〇〇五市教委）によりました。

## 蟹仙洞



開館 9:00~15:30  
火・水・木曜日休館

年末年始休館  
12月29日~1月5日

上市市矢来4丁目 023-672-0155

斎藤茂吉記念館  
令和3年度 特別展  
「新収蔵資料展」  
会期：来年3/31(木)まで

「やまがた文化応援  
キャンペーン」  
\*山形県民限定入館料割引  
\*大人1名通常600円~500円  
※詳細はお問合わせください

休館日：水曜日・12/28~1/3

斎藤茂吉記念館 北町字弁天 672-7227

## 企画展

「“ちょっと”昔の上山の風景展」

■会期 12月5日(日)まで  
9:00~17:15(最終入館16:45)  
※会期中木曜日休館

■料金 入館料

歴史講座「最上義光と徳川家康」

■講師 公益財団法人致道博物館 菅原義勝氏

■日時 12月11日(土) 10時~11時30分

■定員 30名(予約制)

■料金 入館料

※お問合わせ・お申し込み

## 上山城

上市市元城内 023-673-3660

◆連載◆ふるさとへの便り 第五十九回

武田 幹雄  
(上山出身・千葉市在住)

野暮用あつて上山に帰った。一年半ぶりに東北道を走る。那須高原あたりから始まる秋のグラデーション。速度を上げれば早回しの映画を見るように景色が移ろい、東北中央自動車道に入ると、まさに錦秋の趣。ため息が出る。

眼瞼下垂の術後は良好で、人相はともかく、目薬の回数は減少し頗る快調。おかげで故郷を楽しめる。用事を済ませる間に友に会う。コロナ禍で連絡もあまりせずじまいだったから、会えば話に花が咲く。回春には昔話が特効薬だ。拙稿で「僕」などと気取っているが、会えば俺、お前の間柄、返事も「んだ」で済む。食後の茶店。コーヒーで二時間も粘られては店もいい迷惑だろう。脱



走りを企てた仲間。それでも我慢の甲斐あつて東北大会の決勝で能代工、インターハイでは全国八強を目指したが仙台一高に敗れた以外、県内では負け知らずのバスケット選手である。悪いことにも手を染めて、両手が後ろに回らない程度の「悪事」を働いた。実家が今で言えばスーパーマーケット、酒屋を営む某君の家では夜、倉庫の酒を盗み飲み。ささやかな不良になった。卒業の日の夜、その後校長になる先生が自宅にやってきて、バーに連れていかれた思い出も懐かしい。

の別名・蔵六を名乗って昭和五十三年に工房を開いた。六十二歳で亡くなったが、現在は子息の木村菖一郎氏が二代目を名乗っている。この冊子「かみのやま」の題字も蔵六さんが書いた。奥様にお話を伺いながら、干支の張り子、妖怪面など、栄一君の遺作を眺めた。変顔のお面には、世知辛い世の中へ少しばかり盾突いてみたいようなアンチテーゼを感じて、柔らかな笑顔と太い眉の栄一君を思い出した。気に入ったひよつことおおかめ、来年の干支、虎の置物、絵葉書を購入した。

朝早く起きて深呼吸する。冷気を肺の隅々に送り込めば、二、三日長生きできそうな気持ちになる。黄昏時から、日が落ちて山の稜線がオレンジ色に染まるさまは無言で眺めるに限る。東京湾に沈む夕日も相当美しいが、なにより空気が清々しい。

今年の冬は雪が多いかもしれませんが、義弟・奥山彰敏さんが言う。「カメムシが出てくるのが今年はずいぶん早いですね。カマキリも高い場所に卵を産んでいる。こういう年は…」と言うのだ。自然の理、山

の生活、知恵などを教える森林インストラクター。子供たちを相手にこんな話をするのだろう。先人が暮らしから得た経験が未来に伝えられていく。

義弟の案内で生居、樋下を探索し里の秋も堪能した。今回も往復千キロの旅。お土産は長清水の梅津和夫さんが育てた立派なリンゴ、切り餅、コンニャク、利久堂のかりんとと、頂いた新鮮な野菜をたっぷり。これで当分は山形を味わえる。令和三年もあとひと月。ちよつと早いけど、皆様よいお年を。

「写経会」：毎月第4土曜日9時から  
「ご詠歌会」：毎月第1水曜日1時30分から

最上三十三観音第十番  
上山三十三観音第一番

水岸山慈眼院 **観音寺**  
山形県上市十日町9-29 電話023-672-1421

**吉井内科胃腸科  
クリニック**

診療時間【木曜日休診】  
**月・火・水・金・土**  
A.M. 8:30 - 12:00  
P.M. 2:00 - 6:00

院長 **吉井 英一**  
**023-673-7515**  
上市市金生東一丁目10-15

**七五三写真  
キャンペーン中!**  
入学記念写真も  
入れる事ができます!

各種証明写真承り中!

**高橋写真館**  
SINCE 1888 TAKAHASHI PHOTO STUDIO  
TEL 023-672-0541 完全予約制  
営業時間 9:00~18:00 定休日 火曜日  
<http://takahashi-photo.net/>  
上市市十日町8-5

# 連載随筆⑥ 温泉に行こう

橘 千枝  
(エッセイスト)

子どもの頃に暮らしていた茅葺屋根の囲炉裏のある家に風呂はなく、温泉共同浴場に行くのが日常だった。この温泉町では当たり前のことで、家から近い浴場に行くのが常だったが、たまに遠征するのも楽しかった。昭和四十年頃、家を建て替えた際に風呂を作った父は、隣近所から「何を考えてるんだべ」と噂されたとか。温泉があるのに、わざわざ水道水を沸かして入る風呂など、無駄とか贅沢としか思われない時代だったようだ。

しかし湯の町で育った父は、時間の余裕がある時は相変わらず共同浴場に行き、上山では浴場を皆、裏へ裏へと人目のつかないところに引っ込めてしまったと嘆いていた。戦後の高度経済成長期には物質的に豊かな暮らしを追い求める風潮が強く、共同浴場は貧乏くさい昔の慣習と捉える雰囲気があっ

たように思う。温泉の効用や癒しには当たり前すぎて気づかなかったのかもれない。

数年前、給湯器が壊れて久しぶりに共同浴場に行ってみると、湯の質は好いのに設備がお粗末。観光客も来るだろうに、入るなら入れと言わんばかりでサービス精神が感じられない。古くても良いが「鄙びた風情」と「旧態然」とでは意味が違う。日々通う住民のためには必要最低限の料金設定なので、設備が老朽化しても交換できないとか、洗髪料金が別途に設定されていると聞か、観光客にとっても住民にとっても中途半端だ。

コロナ禍で旅館も大変な状況だが、一泊二食で豪華な料理を提供するという固定観念から離れられないようだ。物見遊山が観光という昭和の記憶が消えないのだろうか。それではどこまでも

競争を続けるしかなく、どこかで評判のものができれば、すぐに模倣しなれば遅れた観光地になってしまう。泊食分離や現代湯治など、時代の流れに合った対応も必要ではないか。地域住民が旅館に行くのは忘年会や法事の時だけ。日帰り入浴は観光客向けの料金で、ふらりと行ける雰囲気ではない。温泉町に住んでいても日常的に温泉に入らず、車で遠い温泉宿に行き観光客としてお金を落として来る。この地にもまだ温泉文化が残っているのに、敢えて目を逸らしているように見える。

クリエイティブディレクターの岩佐十良氏は、豊かな暮らしを提案するライフスタイルホテルを提唱している。その土地に根ざした暮らしの延長にホテルをデザインするという。客が温泉街を歩く仕掛けを作って、宿と温泉街が一つの空間として繋がるような地域



再生プロジェクトを展開している。氏は、地方の温泉地が衰退したのは、すべてを宿の中に取り込んで客を外に出さないようにしたからだと言う。上山も以前は、温泉街に土産物店や寿司屋・バーなどが軒を連ね、映画館も夜まで営業していた。パチンコ店や遊技場、ちょっと怪しい店もあった。あの複雑な雰囲気はいかにも昭和という感じで今の時代にはそぐわないが、氏はカフェなど現代の感覚に合った店舗を温泉街に配して、宿の客が自然に回遊する仕組みを作っている。宿の中にも地域住民にも開かれたベーカリーや書店がある。フロントを敢えてカフェ

の二階に置いているのも面白い。

氏が企画する別のライフスタイルホテルには、商店街アーケードの中の町家を数軒改造し、客が商店街で買い物や食事をして楽しむ宿もある。旅館でもない別荘でもない不思議な場所だ。物見遊山ではない、その地域を体感する旅。暮らすように旅するという成熟した観光は、今一番のトレンドだ。数日間滞在して名所旧跡を回遊する拠点にもなる。皆が各自お気に入りの風呂を求めて温泉街を歩き、共に暮らしを愉しむ風景が蘇れば、自然に来訪者も増えて来るのではないか。今あるものを改めて見つめ直して、温泉に行こう。

あったか〜い、冬。



ソフィア  
**SOPHIA**  
tel&fax. 023-673-0517  
上山市南町2-7

泡エステで10歳、若返りませんか!



ムース♥デコ  
ニキビ・吹き出物  
美白・リフトアップ  
毛穴の黒ずみ  
シミ・小じわ  
手の荒れ  
アトピーなど  
特許取得  
原点に戻った新発想  
他店にはないメニュー!

**アライ美容院**  
ご予約:673-3002



上山市金生東二丁目  
023・673・3103

「里桜だよね……」  
立ち止まった彼女の後姿が、一瞬震えたように感じられた。

「え……？分かったの。」

幾分間を置いた後にそう発して振り向くと、莞爾として続けた。

「わたしはすぐ分かったわよ、あなたのこと。」

ここで筆者は幾十年前も前の「荒目里桜」と言う名を、何ゆえ澁んだ記憶から掘り上げることが出来たのかを、この物語に付け足さねばならない。

それは先週のことであったが、中学の時に私を俳句結社『凡夫』に誘った呉歩——彼は本来「くれあゆむ」である筈の

名前を「ごふ」と大陸風に誤読されるのを嫌っていたが、別の級友がふざけて「ゴッホ」と発したのを機に、そのまま俳号にする程気に入っている俳人である。——から連絡があり、

「この間、俺のSNSにメッセージが来て、差出人の名前が『R.Amane』だったんだ。ララメ……？と、最初は中東風の名前に只のいたずらだろうと無視していたんだが、『呉さん、今でもゴッホさんと呼ばれてるのかしら。あなたのお名前を見つけて、つい懐かしく思いましたの。』というのを目にして、やり取りが始まったんだ。それが荒目里桜だったんだよ。ほんの一ト月程しか学校に居なかったから思い出せなかったけど、『アラメ

リオ』という響きを聞いた途端、少しずつ記憶が蘇って来たんだが、お前、憶えてるよな。」

幾分興奮気味な呉歩は、私に問い掛けておきながらその答えを待たずに、話を続けるのだった。

「転校して来て、すぐに転校して行ったよな。その間に『凡夫』に入っていたと言うんだが、よく思い出せないんだよなあ。」

今度は私の答えを待っているらしかった。受話器越しに缶ビールを空ける音が響くのに続いて、パソコンのキーボードが打たれ始めた。記憶を遡る私に構うことなく、ゲップをすると、

「やっぱよく分からんよな。彼女からの

メッセージをまとめて送るから、後で見といてくれ。」

そう言うのと、電話が切れてしまった。呉歩からの疑問に暫く腕組みしてみたが、『凡夫』の会員である彼女の姿が思いつかばなかった。その日の夕方、呉歩からのメールに添付されていた内容は以下の通りである。

——また知らない街に来て、また知らない街に行くのだと思っていたけど、たまたま図書館で手にした『凡夫』に驚いたの。中学生でこんな冊子を作れるもの

かしら、って。ガリ版で刷られた文字のなんと綺麗なことだったでしょう。無意識に『編集 呉歩』という名前を指でなぞっていて、ドキッとしたのを思い出すわ。それから思い切つてあなたを訪ねて入会させてもらったけど、新しい号が出る間際、私は転校したのよね。それでも、一度だけお城の辺りにみんなで行った吟行が、忘れられないわ。その時教えてくれた金子萬嶽の、

近よれば見うしなひけり山ざくら

何だか、私の心を見透かされたような気がして、次の日、経塚山の句碑を見に行ったよ。いつか上山に行く機会があったら、今度御一緒してくれないかしら。あら、私ったら、何だか積極的になってるわね。

この後に、父親の仕事の関係で転校を繰り返して、最後に東京に落ち着いたとのこと記されてあった。しかし、お城での吟行のことを知っているとは言え、この転校生が『凡夫』に入っていたのか、思い出すことは出来なかった。

**いも煮**  
2~3人前  
(6コ入り)  
¥6,600 (税込)

地元「上山」のお土産に!!

**丸松物産株式会社**  
山形工場 上市市新北浦3番地  
TEL.023-673-5511  
http://www.marumatsu-mb.co.jp

**手づくり洋食を**  
ご家族連れどうぞ

レストラン  
駅東口より徒歩5分

**イビサ** 023 673-3034  
営業時間 11:30~21:00 定休: 木曜日  
(日)・祝 11:30~21:00 (祝除く)

ご商談・ご宴会に  
二階宴会場をご利用下さい

割り子そば

石臼挽きそば

**みつひろ**  
上市市新湯6-34  
TEL.672-3815

# 回想記 松の根っこが天空を飛んだ

岩瀬 義一  
(苦小牧在住・上山市出身)

かつて、日本各地で様々な人々が協力し合っ  
と松根油を絞り出した。

「苦小牧」にはアイヌ語で「山に分け入る川」という意味がある。私の教員生活はこの自然豊かな天地で伸び伸び育った中学生と共にあった。一九五五年ころのことである。受け持ちの四十人の生徒宅に順繰りに家庭訪問したときに、数名の祖母と母親は過去に王子製紙会社に勤務した経験者であった。会社西側の貯木場での「よいとまけ」の仕事だと云う。それほどどのような仕事か尋ねると、「会社が操業を始めた明治末期から昭和の初期まで、木材の積み下ろしに約五十人の女性が一組十二人で勇ましい掛け声「よいとまいたア！よいとまいたア！」が朝から晩まで市内中に聞こえたのです」と老いた保護者たちは説明してくれた。

太平洋戦争中に「よいとまけ」の仕事は縮小され、「松材木の皮をむく作業」に数十名の女性と約四百名の苦小牧工業生の会員が約五十人の交代で動員させられたという。

全道で剥がされた松の皮は、札幌市郊外の江たのでついて行った。私たちはその工場に入ってみると、学校の四教室位の大きさで、釜の回りの柵は赤いペンキが塗られ、ペンキの匂いがしていた。直径十メートル位の大きさの釜が炉の上に、二基架かっていて、しばらくすると、彼の父がやって来た。彼は自分の息子・利隆の姿を見ると、私たちの所に飛び込んで来た。彼は微笑んでいたが、顔と両手は煤で真っ黒になっていて、急に黒鬼が表れたようで、一瞬怖くなった。しかし彼の父は利隆を見ると、私たちに微笑みながら職場の事を説明してくれた。「戦争が終わって二年も経つのに、村の役所から今までどおり操業を続けて欲しい」とのこと。外にうず高く積んである松の木の皮や根を砕いて、この乾溜釜に入れて乾溜させ、松根油を取り出すのです。…」

別市の工場で松根油として精選された。さらに苦小牧生まれの知人の話で、「小学校五年生の時、学年全員が「松根油」のため支笏湖方面の山で、松の木に傷を沢山つけて松ヤニを採取させられた」という。

戦後七十年以上も経過したが今でも、「虹の松原」の松に松ヤニを採取した生々しい傷痕が残っていることが朝日新聞に掲載された。さらに、東京在中の知人が、長野県駒ヶ根市に馬見塚公園の松林の前に、大きな黄色い板を背景に筆の文字で掲載された看板「傷痕軍松」の写真を送付してくれた。その看板の下方に縦横二メートルほどの板に、人々が見やすいように斜めの角度にしてある。「その北側に面したエリアは幹の皮は剥ぎ取られ、斜めに筋の入った松を何本も見ることが出来ます。これは、戦争中松脂を不足する燃料として使うため、国の指示で採取して集めた時の傷跡として残っているものです。馬見塚公園以外にも市内各地にこのような松があったといわれていますが、…」後世に伝えて「悲惨な戦争現実と平和の尊さ

電話である当時のことを利隆に確認したら「懐かしくよく覚えている」と、東京葛飾区から手紙が二〇一〇年の一月に届いた。

最近「松根油」について各新聞に掲載、テレビで放映されていたので、関心が盛り上がってきた。ネット等で調べてみると、ベルリン駐在の海軍武官から「ドイツは松の油で戦闘機を飛ばしている」との情報が届いた。国は国民に鉄材を供出させ、三万七千基の乾溜釜を全国に配置させ、松根が掘り出された」との趣旨である。その松根油を使用して、空を舞うジェット機「橘花(キッカ)」を終戦間際に中島飛行機の技術者が開発したのだ。

長野市の元海軍中尉・原田要氏が証言しているのを実際にテレビで視聴した。彼は戦争末期、教官として北海道の千歳基地で搭乗員養成

後世にしっかりと伝えていかなければならないと考えています」と説明文が付いている。このように、多くの人々に訴えている事は素晴らしいと思っている。

松根油の話聞いて、中学校時代の同級生の友人を思い出して、ノストラジックになった。利隆は太平洋戦争が終わって二年目の一九四七年六月、西郷中学校の二年生の時だった。その中学校は、上山市郊外の西郷村役場の近くの畑の中に突貫工事で完成された二階建ての木造建築であった。その学校から菅野利隆と私はほとんど一緒に下校した。ある日、彼の家に行ったとき、温厚そうな彼の母から「友人になって欲しい」と依頼されたのだ。彼は戦時中に東京から疎開で父親の育った村に疎開していた。温和で真面目な彼と私は、定期試験が近づくと一緒に勉強に取り組んだ事を懐かしく思い出している。

登下校時に通る道路ぎわの畑の中に、工場のようなものがあった。ある日、利隆が突然「父がここで働いているので、入ってみたい」と言っ

に当たっていた時だ。彼が練習機のパイロットを依頼され終戦直前に千葉県の木更津基地を離陸し、飛行中にエンジンが止まってしまったがなんとか不時着出来たという。約十二分間の飛行に成功している。ドイツ、イギリス、アメリカに次いで成功していたのだ。終戦後もアメリカ軍の立会いで、松根油に通常の航空燃料を三割ほど混合して試験飛行をしたようだ。

戦後、米国の「戦略爆撃調査団」の発表資料によれば、一九四五年四月から八月まで四十三万四千人が動員され、四万キロリットルの松根油が作られたと見積もられている。

戦争に直接役に立たなかった松根油だが、戦後の日本の復興のために漁船や脱穀機を動かす発動機の燃料に使われたことはせめてもの救いになった。

◆おかげさまで売れています！


猫の手マドレーヌ  
「わんわんドーナツ」  
「しっぽフィナンシェ」

十五屋本店  
上山城登り口 西六七一〇二六九



まちcafe2011

どんだん焼き  
チーズ入りどんだん焼き  
男爵ブレンド  
ドリンク各種



営業時間 11:00~  
場所 荘内銀行上山支店さん向かい  
駐車場は市営二日町駐車場をご利用下さい  
NPO法人 上山まちづくり塾

私の勤める整形外科病棟での業務の一つに入院対応がある。現在は新型コロナウイルスの影響で入院時にPCR検査にご協力頂き、その結果が出るのと外来の看護師が病棟に結果を報告し、我々が外来まで迎えに行く流れになっている。

外来で簡単な挨拶を済ませ、ここやかに天気や政治や小室圭さんの話なんかをしながら病棟を案内すると、荷物を整理して頂いたのも束の間、小難しい同意書の記入や術前の様々な検査、手術の説明など、入院初日の患者の皆様は腰が痛い最中にさぞや疲労困憊であろうと推察している。

「着替えて待っていると云われたが最後、いつまで待たせるのであろうか」などとお叱りを受けることもしばしばあるが、その時に我々看護師が何をやっているのか、ぜひお伝えしたいと思う。

医療従事者にとって切っても切り離せない関係にあるのが「カルテ」と呼ばれるものである。機関ごとと呼び方や役割は異なると思うが、カルテの内容をざっと説明させて頂くと、医師の記録、入院や手術についての同意書関係、手術の記録、処方された薬の内容、検査結果、看護師が記録する体温表、患者の情報などがまとめられている患者基本情報、日々の

看護記録、検査や点滴などの医師の指示表など、細かいものまで含めるとそれはもう膨大な数になる。そのほとんどを管理しているのが皆様ご存知の我々看護師であり、手術目的の入院ともなれば、入院当日にそれを一手に引き受けることになる。

私の体感では実際に患者に対応している時間とカルテを記入している時間はちょうど同じくらいの割合であり、急変や転倒などのイレギュラーな事象があれば、それに比例してカルテを書く時間もだんだんと伸びていく。そうして記入の漏れやミスがあれば名前の書かれた付箋が立てられ、ありがたい先輩看護師のお言葉を

聞き流しながら修正することになるのである。

そちらのカルテの処理だけで業務が済むのであれば大変ありがたい話なのだが、看護師の人数によってはそれに並行して7人くらいの入院患者を受け持っていたり、術前の患者の準備や術後の管理を行っていたり、はたまた緊急入院を含めて3人の患者の入院に対応する、なんてことも往々にしてある。



院にも一縷の光明が差し込んできた。全国に大変遅ればせながらも、来年度から『電子カルテ』が導入されることになったのである。現在はそちらの導入に向けたシステム設定や勉強会に躍起になっており、満身創痍の勤務時間外に横文字を頭に詰め込んでいく。地頭の悪さのせい、あまり内容は覚えていないが、きつとボタン一つでうまい茶が出てきたり背中をかくてくれたりすることであろう。

山形県知事許可「高度管理医療機器等販売業許可証」取得店  
最適な補聴器。プラシモライト。

デジタル補聴器  
耳掛型  
“無料試聴貸出”中!

耳あな型片耳価格 138,000円  
ポリウム 148,000円(片耳・非課税)  
コントロール付 248,000円(両耳・非課税)

計測器  
メカ式  
補聴器

エフパルク  
F・parc 佐藤

〒999-3143 上山市二日町9-1(矢来橋ギワ)  
TEL.023-672-0207

いなげ花店

上山市矢来一丁目3-18  
(かみのやま温泉駅前)

駅前本店 TEL.672-0157  
FAX.672-6760  
ヤマザワ店 TEL.673-1343

くだものうつわ  
各種ご贈答にも最適

上山市金瓶水上6-2  
Phone: 023-672-5861

# 連載・わがロードバイク・ライフ

黒森 鋼  
(上山市在住)

## 《第八十回》ジャージャー麺とじゃじゃ麺

二〇〇九年九月一日(一六六日目) 七戸町→三戸町 道の駅さんのへ 五二km

ぎから晴れるようだ。午後から出発するとどこからかソラン節が聞こえてくる。中学生の時に踊ったのを思い出して懐かしくなった。国道四五号との分岐点、左折すると三陸のリアス式海岸の方に行く。しかし海沿いのアップダウンの辛さを知っていたため、そのまま国道四号歩道を直進した。七戸から六戸、五戸を過ぎ、なんだかやる気が湧いてこないまま走り続け、午後五時に道の駅さんのへに着いた。直売所の上下赤い服を着たおばちゃんに、「こっちに来な。」と言われて行ってみると、とうきびを一本貰った。素朴な甘さが体に染みていく。おばちゃんと椅子に座って「どこから来た。」とか喋っていると、青森から家族旅行をしていた人に話しかけられた。直売所のスタッフと間違えられたようだ。オススメはとうきびと伝えると三本買っていった。とうきびのお札に閉店の片づけを

手伝う。おばちゃんに許可を貰って、軒先にテントを張らせてもらった。今日から九月、あとのくらいで旅が終わってしまうんだろう。最近、早く帰りたいような、まだまだ旅を続けたような気持ちでブレている。北海道から本州に戻ってきて、何かわからないが何か足りないと感じる。

九月二日(一六七日目)三戸町→花巻市 道の駅石鳥谷 一三五km

五時半に起きて六時までにテントを片付ける。北海道の道東のような濃霧だ。ライトの明かりも数m先に吸い込まれた。ミニストップで朝飯を食べて七時半、そろそろ行けそう。主要道路で交通量が多い。邪魔にならないように歩道を走る。事件が起こりそうな金田一という温泉を過ぎ、馬仙峡は絶壁の岩肌を眺める。左が男神岩、右が女神岩というようだ。国道四号最高地点の中山峠は四五九m、「これで終わり？」というほどあつけない。楽に越えられたのはいいが少し物足りない。十時半に北緯四〇度線を過ぎた。岩手山が田園風景に浮かんでいる。頂上は積雲がかかって見えないのがまた良い。



盛岡に到着した。駅の写真を撮って県庁で観光マップを貰う。おすすめのお店を聞く。ジャージャー麺とじゃじゃ麺は別物だと言うことも教えてもらった。午後二時半におすすめされた白龍(パイロン)に着くと四人も並んでいた。お店から出てきた常連っばいおじさんに食べ方を聞いて中盛り五〇〇円を注文する。待っている間に店内を見渡す。HOW TO EAT」と英語で書かれていて観光客の多い店だとわかる。「はいど

うぞ。」とカウンターに置かれた器からは湯気が出ている。中華麺ではなくうどんであったことに驚いた。うどんに五mmに切ったキュウリを散らして肉味噌が乗っている。混ぜると白いうどんが味噌色になった。一口食べてみる。「ん？んー。」食感、味ともに想像していたのと違った。食べ終わった器に卵を落として軽く溶く。そしてスープを入れて貰うと「ちいたんたん」というスープになる。何度か食べると癖になってくるらしい。一度だけでは美味しさはわからなかった。本来なら宮沢賢治と啄木の記念館に行くつもりが、ぐるぐる迷って盛岡駅に戻ってしまった。もういいやと国道四号を南進して盛岡を離れた。道の駅石鳥谷まで一〇km、陽も傾いてきた午後六時に到着した。二四時間の休憩所があるが六台の監視カメラがあった。

幸ファーム いいの広場  
ゆうゆう  
「遊々」  
12月のイベント 上山市権現堂 18日(土) 10時  
「そば打ち体験」  
参加料 一人 一、五〇〇円  
参加申し込みは 12月14日(火)まで  
出来たそばは 持ち帰りになります  
申し込みは TEL/FAX 023-672-2078 090-5844-9755

ワイヤーカット加工による金型部品加工  
金型・治工具設計製作  
有限会社 山上企画  
〒999-3122 上山市仙石1263番地5号  
TEL.(023) 673-1114 FAX.(023) 673-1115  
有限会社 大崎金型  
〒981-3604 宮城県黒川郡大崎村駒場字砂右衛門橋 3-162  
TEL.(022) 345-5378 FAX.(022) 345-5378



上山市観光課 〇三(六七)一〇一一  
 上山市観光協会 〇三(六七)〇八二九  
 かみのやま温泉旅館組合 〇三(六七)一四五六  
 上山市立図書館 〇三(六七)〇八五〇

上山城郷土資料館 〇三(六七)三六六〇  
 JRかみのやま温泉駅 〇五〇(〇)一六〇〇  
 蔵王坊平観光協議会 〇三(六七)二二一一  
 蔵王猿倉観光協議会 〇三(六七)二二一一

山交ハイヤー 〇三(六七)一六六一  
 観光タクシー 〇三(六七)一三三三  
 上山タクシー 〇三(六七)一三三三  
 上山レンタカー 〇三(六七)四一九〇

かみのやま温泉駅東口

蟹仙洞 ●

1F 美容室 シュシュ ●

2F 成蹊学習塾 ●

ゲオ ●

ツルハ ●

## 抗がん剤治療でお悩みのあなたへ

医療用ウィッグの購入支援及び助成金が受けられます。

美容室 **Chou Chou** シュシュ

<http://chouchou6736030.blog.fc2.com>  
 上山市矢来4-8-1 ☎673-6030

いさながて、大さなわ

**進和ラベル印刷** 株式会社

〒999-3104 上山市蔵王の森10番地  
 TEL (023) 672-7577

東京駅5分、家族経営の温かな料理店

上山中学校昭和40年度卒業  
 上山小学校昭和37年度卒業

さて、誰でしょう？  
 変な頭が特徴です。

中央区日本橋2-2-15 日本橋テイトルビル2階  
 ☎03-3274-1797 上京の折、ぜひ来店ください。

## 栗川稻荷神社

上山市松山一―五二鎮座  
 社務所 ☎〇三(六七)三三三〇

御祭神 稲倉魂命  
 元旦祭 一月一日  
 例大祭 四月二十三日  
 月例祭 二十三日

由緒沿革  
 栗川稻荷神社は備中国庭瀬の城主松平信通公が城中守護神として奉祀され、厚く信仰されてきたお社であります。

元禄十年九月出羽国上山に国替を命ぜられ、その後松平家の守護神として城内に社殿を造り固い信仰を捧げたのであります。

大政奉還の後は現在の松山高台に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に境内はもろん県外よりの多くの参拝者を迎えるようになりました。

月刊『かみのやま』第248号 発行日 2021年12月1日  
 編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会  
 〒999-3145 上山市河崎2-4-23 ☎023-672-8581 FAX.023-672-8582  
 発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故木村蔵六 編集協力/鎌上宏

# 激戦! 上山のそば・ラーメン全店制覇

## 上山麺類食堂組合20店で食事をして豪華景品を当てよう!



上山麺類食堂組合加盟店で食事し、応募券にそのお店のスタンプをもらい20店舗すべてのスタンプがそろったら加盟店にご応募ください。かみのやま温泉ペア宿泊券や上山麺類食堂組合オリジナル商品等をプレゼントします。

期間 / 2021年12月1日(水曜日)から2022年2月28日(月曜日)まで

### 上山麺類食堂組合加盟店

伝八そばや	中山3581	TEL.676-2138	熱烈中華	〇 武	金生東2-17-27	TEL.673-2650
山椒庵	葉山5-1	TEL.672-2217	川芳そばや		二日町7-10	TEL.672-0619
松茶庵	河崎2-4-12	TEL.672-0399	八千代食堂		二日町7-10	TEL.672-0346
そば処 やぶいち	河崎3-5-5	TEL.672-0251	harappa soba & cafe		矢来1-3-1	TEL.673-2320
みそのそばや	石崎1-4-19	TEL.672-0798	木こり		高野字薄沢3	TEL.679-2321
中華料理 信	石崎1-8-36	TEL.609-9115	鏡そば屋		新町2-1-7	TEL.672-0210
きたや	相生11	TEL.672-0585	清来軒		新丁2-7	TEL.672-0708
原口そばや	原口527	TEL.674-3101	そば処 さかえや		十日町10-28	TEL.672-0889
手打そば たから亭	金生東2-6-19	TEL.673-3103	湯蕎庵 味津肥廬		新湯6-34	TEL.672-3815
長好亭 みさき	美咲町1-4-6	TEL.672-6797	蕎麦処 一休		鶴野町2-12-5	TEL.672-2062



## 丸松物産株式会社

山形工場 山形県上山市新北浦3番地 TEL:023-673-5511  
 東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611  
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>

# こんにやく懐石膳

お客様の接待、ご会合等にもご利用ください。



各種ギフト・お土産品もごございます  
(発送も承っております)

楯下宿



株式会社 丹野こんにやく  
こんにやく番所

フリーダイヤル 0120-08-2351  
〒999-3225 山形県上山市楯下1233-2  
TEL (023) 674-2351  
FAX (023) 674-2515

なつかしい和 (なごみ) の空間

かみのやま温泉葉山 彩花亭

時代屋  
じだいや

☎ (023) 672-2451  
<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名月荘

MEIGETUSOU

〒999-3242 上山市葉山5-50  
TEL.023-672-0330 (代表)  
フリーダイヤル 0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉

仙溪園 月岡ホテル

〒999-3141 山形県上山市新湯1-33  
TEL.023-672-1212(代)

かみのやま温泉 葉山



電話 023-672-0295

FAX 023-672-0425

ホームページ <http://www.hashimotoya.com>